

菜種

なたね

編集と発行
北栄町農業委員会
北栄町土下112(北条庁舎)
TEL(0858)36-5567



梨に風 ジョイント・穂木と 新甘泉

家族に夢と希望の梨づくり

亀谷 生橋 健吾さん・由美さん・遥真くん(3才)・真翔くん(0才)

大学卒業後、倉吉で社員として働いて4年半経った頃、ふと農業で生活をしたいと考え会社を辞めました。農業大学校で1年間研修し、認定新規就農を取得し平成26年2月に就農し、今年で4年目です。夏は菊、冬はストックを

14aずつ栽培し、梨の新植園を整備し50aの新甘泉・秋甘泉混植のジョイント園で樹を育成中です。梨は今年初収穫の予定なので期待しています。

農業経験値0からのスタートで全てを自分の手で準備・管理して

いくことは大変です。しかし、農大時代からの仲間や、様々な人と交流する時間が多く作れ、相談や助言を聞くことができ営農に活かすことができています。農園の無限の可能性を信じ努力していきたいと思います。 文：生橋 健吾

もくじ

2. 梨に風 ジョイント・穂木と 新甘泉
ジョイント栽培を利用した新甘泉と穂木について

3. 北風・太陽 手もみ重ねて あんぽ柿
田村幹雄さん

農業委員活動

4. 農業者年金コーナー～受給者と加入者の声～
第7回 北栄アグリフォーラムのおしらせ
ホットたいむ

梨に風 ジョイント・穂木と 新甘泉

取材：生橋 巧

梨に追い風が吹いています。長らく梨産業は低迷をし、30年前に比べると面積で約4分の1と減少しています。しかし、ようやくここにきて梨産業に明るい兆しが見えてきました。その要因について説明します。

(1)ジョイント栽培

これは梨の整枝方法の名称で、1997年神奈川県農業技術センターで考案された技術です。10a当り140本程度植え付け隣の樹と



ジョイント栽培（県園芸試験場）



ジョイント栽培の接ぎ木部（生橋園）

接木をし直線状にする方法です。この特徴は、●簡単で誰でも容易に取り組むことができる●受光体制が良く生産性が高い●短い年月で収量を得ることができる等が挙げられます。

鳥取県内では、新甘泉によるジョイント栽培が徐々に広まっていますが、町内では3例しかありません。その1例を紹介いたします。

北条地区の東地大さんです。兄弟で梨栽培を行っています。経営は別々とのこと。弟の大さんは、2年前に20aの畑にジョイント栽培による新甘泉を植え付け、今年の春に接木をし樹形を完成させる予定です。ジョイントという新しい技術への挑戦と新甘泉の高単価の魅力が重なって今回の決断になったようです。来年の初なり



ジョイント園（東地園）

が楽しみであるとのこと。畑にわらや堆肥が持ち込まれその意気込みが感じられました。



新甘泉着果状況（県園芸試験場）

(2)新甘泉

鳥取県園芸試験場で育成され、2008年に品種登録されました。特性は、糖度が13度と高く、果重は400g台と大玉。熟期は、8月下旬～9月上旬と中生品種となります。

販売が始まって5年程度経過しましたが、すごい人気で品薄状態が続いています。市場価格は、5kg当り2,500～3,000円が相場です。今後ともこの傾向は続くもの

と見られます。その理由は次のことが考えられます。

- 品種登録後30年間は登録県が生産販売を独占でき、急速な生産量の増加がありません。
- 鳥取県内の梨生産農家は高齢化が進み切り替えをする意欲と元気が乏しくなっています。したがって、鳥取県内でも大幅な生産量の増加は望めません。

- 新甘泉を二十世紀梨と同じように作りますと収量が上がりません。新甘泉を作りこなすには一工夫が必要となります。その一工夫にはジョイント栽培が有効です。

新甘泉の販売のこの勢いはまだまだ続くものと思われます。頭が柔軟で若い方、新甘泉に取り組んでみませんか。

(3)穂木（品種・新興）

気温の高い台湾では、梨など休眠が必要な果樹は花芽を着けるこ



台湾へ輸出する穂木

とができません。そのため、台湾で梨を栽培するためには花芽のついた枝を毎年接木する必要があります。20年前は全国各地から台湾へ穂木が輸出されていましたが、いろいろな事情により数県に減少しています。鳥取県に対する台湾の期待は非常に大きいものがあります。

最近の穂木輸出の減少に伴い穂木価格は上昇し、10kg当り20,000円以上となっています。台湾では梨は高価格で販売され農家は潤っています。したがって、安定的に穂木の生産が出来れば、鳥取県内の農家も潤うこととなります。その技術としてジョイント栽培が有効です。

北風・太陽 手もみ重ねて あんぽ柿

米里では4戸の農家で干し柿を生産されています。期間限定の「あんぽ柿」と「ころ柿」について話をうかがいました。

米里産の干し柿

米里干し柿生産組合 代表 田村 幹雄さん

米里干し柿生産組合は、平成14年に5戸の農家で2.7万個の干し柿作りからスタートし、今年は4戸で約9万個を作りました。

4戸が同じ干し場で干しているの、それぞれのやり方の良いところを参考に、試行錯誤しながら技術の向上を図ってきました。

数年前までは農協出荷がほとんどでしたが、それぞれの生

産者が独自のパッケージを考案し、直売所や市場等にも直接出荷するようになりました。そして私(田村農園)の干し柿は、東京駅や東京のアンテナショップにも置いて頂くまでになりました。

今年は皆で「あんぽ柿」作りにも挑戦し、農協を通しAコープや市場へも出荷しています。

お近くのスーパー等で米里産の干し柿を探してみてください。



笑顔で取材に応じてくださった田村ご夫妻



柿を収穫して洗い
大きさ別にして皮むき...



一晩乾燥機にかけて
もみもみし形を整えて...



てまひまかけて仕上がった
あんぽ柿3ヶ入と1ヶ入で販売

～田村幹雄さんを取材して～

手作業で皮むき乾燥させた西条柿を、一つずつ手の中で愛おしそうに揉んでおられる中、話をうかがいました。とろり半熟の「あんぽ柿」と、手もみを繰り返して熟成させた「ころ柿」があり、秋から冬の期間限定で順

次出荷されています。取材は、鳥取県中部地震のほんの3時間前。この干し柿も被害にあったそうですが、沢山の支援もあり、最盛期を乗り越えておられました。

取材：杉川 一二美



手もみをする田村さん

農業委員活動



10月～11月
町内全域でこのタブレットを使用し
遊休農地の発生を防止する目的で
農地パトロールを行いました



10月7日
湯梨浜町との交流研修会
農業者年金の研修、各町の現状や課題、
取り組み等を意見交換しました



11月22日 県外研修(岡山県奈義町)
農業委員会法改正により
新体制がスタートした先進地奈義町へ
(北栄町は平成30年5月から移行します)

農業者年金コーナー
～受給者と加入者の声～

● 農業者年金を受給するようになって
Hさん

年金受給が始まった時、まず嬉しさと安心感が湧いてきて長年の努力が認められたようでした。支払期間は全額社会保険料として控除できましたが受給時に源泉徴収されて何か元に戻った感じ。旧年金もあって経営移譲するのはいいがちょっと寂しい感じもします。また、短期間であっても余裕有る限りもっと掛けておけば良かったと思います。家族（夫婦、子ども）の生活設計も含めて積極的に取り組んでおけば良かったと反省することも多いです。皆さんは後悔することの無い取り組みを検討してください。



● 農業者年金に加入して
Yさん

私の年金の支払いが終了した去年、娘の農業者年金に加入しました。相互扶助的な国民年金とは違い、新しい農業者年金は自分で自分のために積み立てていくものです。（かけすてにはなりません）先が見えない今だからこそ、着実に堅実に将来に備えておきたいもの。みなさんにも（特に女性の方）加入をお勧めします。

第7回 北栄アグリフォーラムのおしらせ



第7回 北栄

夢と希望が持てる農業のまち

アグリフォーラム

テーマ「これがわたしの生きる道」

平成29年1月14日土
12:00 開場 (13:00 開演)

農業者でない方も
お気軽にご参加下さい！

大栄農村環境改善センター
〒689-2221 東伯郡北栄町由良宿423-1

13:30～

自慢の農産物
とっておきの話

・梨・干柿・大栄スイカ
・北条ぶどう・らっきょう
・中玉トマト・肥育牛
・ワイン・加工品
(ジャム・ゼリーなど)

15:30～

お楽しみ
抽選会

抽選方法
来場時に配布する
抽選券(住所・氏名を記入)を
抽選箱に入れて
いただきます。

自慢の
農産物が
当たる！

スケジュール

12:00 開場/加工品販売
13:00 開演
13:30 自慢の農産物
とっておきの話
15:20 北栄ドリーム農場の紹介
15:30 お楽しみ抽選会
16:30 閉会



15:20～

北栄ドリーム農場の紹介

町とJAの共同出資により設立した「北栄ドリーム農場」の取組状況を紹介します。

北栄町産加工品販売会

お問い合わせ JA北条支所組合員課
TEL:0858-36-3321

北栄アグリフォーラム実行委員会 北栄アグリフォーラム実行委員会事務局 0858-36-5565
鳥取中央農業協同組合・北栄町 689-2111 北栄町土下112 (産業振興課内) 0858-36-4595



ホットたいむ



9月下旬に庭木の下に突然現れたバレーボール大の白い球体。これはいったい何なんだ？

実はオニフスベというキノコで食用出来るが不気味で…誰か最初に食べてみて!! 濱坂良男

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

人生には「上り坂」、「下り坂」そして「まさか」の3つのサカがあるという。世の中想定外のことが起こる。まさか昨年の後半は「まさか」の連続であった。イギリスのEU離脱の国民投票、アメリカの大統領選挙とトランプショック、韓国の政治不安と切りがない。なかでも鳥取中部地震は自然災害の少ない、安全な地域という思いこみを打ち砕き、町民に大きな被害と精神的ダメージをもたらした。まさか、びっくりである。農業でも被害を受けた。選果

場等農業施設、農道のひび割れ、農地でも液状化による隆起、陥没、崩落そして農作物の被害と物理的被害はもとより精神的ダメージ、不安は大きいと実感する。

自然災害も農業経営も、普段からどれだけのリスクを想定し準備して排除するかが大切だと思う。日々普通であることがどれだけ幸せなことか。

嬉しい。まさか、石浦関が新入幕で10勝（敢闘賞）。新年を迎えて心新たにみんなで頑張りたいものだ。次号は4月発行予定です。 濱坂 良男

広報委員/盛山 由紀子・森本 壮一・東地 重義・濱坂 良男・生橋 巧・竹信 啓子・杉川 一二美